

第四回 国際土木委員会 議事概要

1. 開催日時 : 平成30年12月10日(月) 15:00~16:45
2. 場所 : 一般財団法人主婦会館 プラザエフ 9F スズラン
3. 出席者 : 別紙参照

4. 議事概要

(1) 委員長挨拶

(2) 東京サミット参加報告について

事務局よりサミットについて下記の報告があった。

- ① 469名参加となり、他の開催地と比較しても大盛況であった。
- ② ISO・CEN・GS1等の様々な標準化団体との連携が進められていた。
- ③ IFCトンネルが再スタートを宣言された。
- ④ IFC5を2020年までに作成する予定である。(インフラ及びレールルーム)

(3) JR東日本からの報告について

レールルーム参加報告があった。

- ① 中国と欧州諸国にて認識の相違を感じた。
- ② Tutorial&Guideline (release 2) が、2018年12月に公開予定である。
- ③ JR東日本としては、レールルームの動向を注視していく予定である。

<意見・質疑応答等>

JR東日本のBIMのガイドラインについて

現在、作成中のJR東日本のBIMガイドラインとレールルームの動向のすり合わせに関して質問があり、レールルームの動向を鑑みて作成を行っていく旨の回答があった。

(4) 小委員会活動について

小委員会への参加の意向状況とサミットの参加状況に関するアンケート結果について事務局より説明があった。

- ① 専門委員の関心が高いテーマは、全般・鋼橋であった。
- ② 小委員会の参加意向は委員、専門委員、オブザーバーともに様子見としている団体が多い。
- ③ 事務局よりアンケート結果に基づき小委員会の設置が望ましい分野の説明があった。対象分野：橋梁・道路・鉄道
- ④ サミットへ参加した団体は参加を有意義と感じ、次回以降の参加希望を示していた。

国土交通省より上記の分野以外にもドイツのサミット前に小委員会設置に向けた検討の依頼が委員・専門委員へなされた。

委員の交代もあるため、事務局より設置手順等の説明資料を配布する。

小委員会における委員会に向けた作業負担は少ない形で進めたい。

(5) その他

- ・ 次回のサミットは3月にデュッセルドルフで開催される。
- ・ bSJにおいて土木のIFC検定の開始が報告された。